

## 山梨県教育振興基本計画（骨子案）

令和5年9月20日  
山梨県教育委員会

教育は全ての人に向けて開かれており、誰もがその恩恵を享受できるもの。どのような境遇や経済状況でも、山梨にあっては、誰もが希望と夢の実現に邁進できるよう、新たな「山梨県教育振興基本計画」〔2024（R6）年度～2028（R10）年度〕を策定し、本県教育を推進するための教育の基本理念、基本目標等を示すとともに、今後の取り組むべき施策の方向等を明らかにする。

## ◆教育を取り巻く社会の状況

- **未来への可能性**
  - ・教育の力で個性や能力を最大限に伸ばし、活力あるふるさとやまなしの実現につなげていくことへの期待
- **人口減少と高齢化の進展**
  - ・人口減少と高齢化の進展に伴う、労働力不足が予想
  - ・人生100年時代を迎え、単線的な人生モデルから、学ぶ時期や進路が複線化するマルチステージの人生モデルへシフトしていくと予想
- **グローバル化の進展**
  - ・文化、経済、社会活動が地球規模に拡大する一方、地球規模の気候変動や災害の激甚化・頻発化、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大、激変する国際情勢などの様々な危機の複合化
- **デジタルによる社会の変革**
  - ・社会経済活動全般のデジタル化を進め、制度や組織の在り方等を変革していくDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進
- **互いに尊重し自分らしく生きる共生社会**
  - ・年齢、性別、国籍の違い、障害や疾病の有無などに関わらず、尊厳ある個人として尊重され、互いに自分らしさを認め合いながら、共に支え合いながら生きる「共生社会」の構築の進展
- **家庭環境や地域社会の状況**
  - ・社会環境の変化、価値観の多様化等により、地域社会を支える人と人とのつながりが希薄化し、地域コミュニティの機能が大きく低下
- **子供の健康と安全・安心の確保**
  - ・子供の健康課題が、肥満・痩身、生活習慣の乱れ、体力低下、感染症、メンタルヘルスの問題など、多様化・複雑化
- **教員の多忙化**
  - ・教員の在校等時間は依然として長時間勤務が続き、また全国的に教員不足が深刻化
- **教員の資質向上**
  - ・教員主体の授業から子供主体の授業への転換等をポイントとした「やまなし教員等育成指標」を改定（2022（令和4）年）

## ◆今後の教育に求められる方向性

- **全ての子供たちの可能性を開花**
  - ・ふるさとやまなしの恵まれた教育環境を生かし、次世代を担う子供たちの未来の可能性を広げる。
- **一人一人が主体となる「学び」の充実**
  - ・「知識暗記」「正解主義」の偏りやインプット中心の教育から脱却し、知識や情報の編集・活用、アウトプットベースの教育へ比重の転換を図る。
  - ・社会人の学び直し（リカレント教育）をはじめ、誰もが生涯のあらゆる場面で学びにアクセスできる生涯学習の体制整備を進める。
- **グローバルな視点の育成**
  - ・「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向け、地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力を育む。
- **「集合知」の結集・発揮**
  - ・あらゆる分野の多様な個性が共に参画する「集合知」の結集・発揮を図るため自ら課題を発見・設定し多様な人と協働しながら課題を解決する探究学習やSTEAM教育等の教科等横断的な学習を充実させる。
- **多様なニーズや背景を有する子供たちへの対応**
  - ・多様なニーズや背景を有する子供たちに対応するため、社会的包摂の観点や全ての子供たちがそれぞれの多様性を認め互いに高め合う観点から、一人一人の能力や可能性を伸ばす。
- **持続可能な社会の創り手の育成**
  - ・学校と地域の連携・協働体制を構築し、地域が子供を育て、子供が地域の創り手に育つことを目指した人材を育成する。
- **現代的な健康課題への対応**
  - ・現代的な健康課題に対応するため、学校教育活動全般を通じた保健教育の充実と、生涯にわたり運動に親しみ、心身共に健康な生活を営むことができる資質・能力を育成する。
- **教員が子供と向き合う時間の確保**
  - ・教育の根幹を支える教員が、自らの能力を十分に発揮し、意欲を持って子供に向き合い続けることができるよう取り組んでいく。
- **時代のニーズに対応した教員の育成**
  - ・ふるさとやまなしの未来を担う子供たちのため、社会の激しい変化に前向きに対応し、学び続ける教員を育成する。

## ◆山梨県教育の目指す方向性（基本理念・基本目標・基本方針）（案）

基本理念	基本目標	基本方針
<p>主体的に学び 他者と協働し 豊かな未来を拓く</p> <p>～誰もが教育の機会にアクセスできるやまなし～</p> <p>やまなしの人びと</p>	<p>未来を生きる子供に必要な力を育む 教育の推進</p>	<p>1 子供主体の授業への授業観の転換</p> <p>2 成長の基盤となる資質・能力の育成</p> <p>3 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材の育成</p>
	<p>誰もが可能性を伸ばすことができる 教育の推進</p>	<p>1 きめ細かな質の高い少人数教育の推進</p> <p>2 多様な教育ニーズへの対応</p> <p>3 人生100年時代を見据えた生涯学習の充実</p> <p>4 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域教育力向上</p> <p>5 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進</p>
	<p>教育DXの推進</p>	<p>1 教育DXの推進とデジタル社会を担う人材の育成</p>
	<p>学校を取り巻く教育環境の整備</p>	<p>1 子供と向き合う時間の確保に向けた取り組みの推進</p> <p>2 質の高い教育のための環境整備</p>